

令和 2 年度 宇都宮市立陽南中学校 学校評価書

1 教育目標（目指す生徒像含む）

本校では、日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領等に示された教育の目標や内容及び本県の教育行政の方針、さらに宇都宮市民憲章、宇都宮市学校教育スタンダード、陽南地区の教育的・文化的環境、本校生徒の実態等を考慮し、健康で明るく気力に満ちた 21 世紀を担う健全な生徒の育成のために、次の目標を設定する。

- 1 気力・体力・活気に満ちた生徒
 - 2 心情豊かで責任感の強い生徒
 - 3 自ら学び、創造性に富む生徒
- 生徒指標：「よく学び、よく鍛えよ」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

人権尊重の精神を基盤として、確かな学力、豊かな人間性、健康や体力など、変化の激しい社会を生きるために必要となる「生きる力」を確実に身に付けさせる指導に力を入れていく。また、人間力の形成に向けて、全教育活動を通じて、「ほめて伸ばす指導（自己存在感・自己肯定感・自己有用感など自尊感情を育む指導）」の充実を図り、自信と誇りをもって生き生きと学校生活を送る生徒を育成していく。

さらに、義務教育 9 年間を通して児童生徒の能力・態度等を育成していく観点から、小学校との連携を十分に図った小中一貫教育を推進するとともに、本校の伝統でもある地域に根ざした特色ある教育活動を一層推進していく。

こうした教育活動がより効果的に実践されるよう、学校における働き方改革を推進し、業務の効率化や労働時間の適正化を図る。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- （1）学習指導要領や宇都宮市学校教育スタンダード等の趣旨をふまえるとともに、生徒の実態や学校・地域の特性を生かした特色ある教育課程の編成・実施に努める。
- （2）生徒の実態をふまえた個に応じた指導など、指導方法や指導体制の工夫・改善を図るとともに、家庭学習を充実させ、生徒一人ひとりの確かな学力の育成に努める。
- （3）共感的な生徒理解を基盤として、発達の段階に応じた生徒指導の充実を図り、望ましい人間関係や豊かな人間性・社会性の育成に努める。
- （4）道徳科の充実を図り、生徒一人ひとりの道徳的実践力を高めるとともに、読書活動や体験活動を一層推進し、生徒の内面に根ざした道徳性の育成に努める。
- （5）健康管理や体力づくり、食に関する指導の充実を図るなど、生徒が将来にわたって健康的な生活を送るための基盤づくりに努める。
- （6）生徒の発達の段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育、進路指導を推進し、社会的・職業的な自立に向け必要となる能力・態度の育成に努める。
- （7）保護者や関係機関等との連携を十分に図り、生徒の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導や長期的な視点に立った特別支援教育の充実を図る。
- （8）陽南地区の児童生徒の豊かな心や確かな学力の育成を目指し、義務教育 9 年間を見通した系統的な指導や教職員の交流、研修会を実施するなど、小中一貫教育の充実を図る
- （9）よき伝統や教職員の創意工夫を生かしたり、地域の教育資源を積極的に活用したりする教育活動を推進するなど、特色ある学校づくりに努める。
- （10）積極的な情報提供など家庭・地域社会との連携を一層深めるとともに、地域協議会の活動の活性化を通して地域に開かれた信頼される学校づくりに努める。
- （11）教職員が、生徒と十分かつ適切に向き合う時間を確保するとともに、ワークライフバランスの実現のため、業務の効率化や勤務時間の適正化を図る。

【陽南地域学校園教育ビジョン】

地域に根ざした豊かな心をはぐくむ小中一貫教育 ～子どもの主体的な活動を通して～
 テーマ：生きる力を育むコミュニケーション能力の育成 ～主体的・対話的で深い学びを通して～

4 教育課程編成の方針

（1）編成の基本方針

- ① 関連する法令と学習指導要領の示すところから従って編成する。
- ② 校長の学校経営方針のもと、教育目標の実現を図るために編成する。
- ③ 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のバランスのとれた育成を通して、「生きる力」の醸成を目指して編成する。
- ④ 各教科・領域の指導に当たっては、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるように生徒の実態に応じ、個別指導やグループ指導、学習内容の習熟度に応じた指導など、個に応じた分かる授業の展開に努める。

- ⑤ 生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、心身の発達段階の特性を考慮して編成する。特に「特別の教科道徳」の研修を、全職員の協力のもと、計画的に行うことにより、道徳教育を充実させ、生徒の道徳性を育てる。
- ⑥ 地域や学校の実態を考慮し、「特色ある学校づくり」の基盤となるように編成する。
- ⑦ 全教職員の参画と教師同士の連携・協力によって編成する。
- (2) 教育課程実施上の留意事項及び授業時数の取り扱い(確保)について
 - ① 授業日数確保のために、夏季休業中に3日間授業を実施する。
 - ② 年間授業時数を2期(I期=20週, II期=15週)に分け、全35週相当になるように計画する。また、各週29時間とする。
 - ・I期(20週) 4月9日～11月10日
 - ・II期(15週) 11月11日～3月24日
 - ③ 宇都宮市による授業時数増加分(15時間)は、各学年とも総合的な学習の時間として、次のように取り扱う。
 - ・第1学年(年間65時間 I期週1時間, II期週2時間, その他まとめどり)
 - ・第2学年(年間85時間 I期週2時間, II期週2時間, その他まとめどり)
 - ・第3学年(年間85時間 I期週2時間, II期週2時間, その他まとめどり)
 - ④ 各教科の年間授業時数は、別紙「年間授業時数表」に定める。
 - ⑤ 1学年美術科と音楽科については、I期において隔週交互に2単位時間を実施することで、週1.5単位時間を実施するものとする。
 - ⑥ 定期テスト及び実力テストは、教科扱いとする。
 - ⑦ 各行事等において、教科の指導項目と関連があるものについては授業扱いとする。
 - ⑧ 年度当初のオリエンテーションについては、学級活動及び総合的な学習の時間のガイダンス扱いとする。
 - ⑨ 出張等については、授業交換をするなど、実質的な授業時間の確保に努める。
 - ⑩ 学校行事等の内容の精選に努める。

※ 前年度を含め約3か月間の新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休業期間があった。この間の学習内容を確保するためだけでなく、学習の補充と強化を図るため、次の対策を行った。

1. 朝の学習・読書の時間の実施
2. 水曜6時間日課の実施
3. 夏季休業期間の短縮
4. 学期間休業の短縮

5 今年度の重点目標(短期的視点) ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】

- ・学年間の交流を促進し情報交換に努め、学校全体で風通しのよい学校づくりを推進する。
- ・全教育活動を通して、生徒間、生徒・教職員間、教職員間のよりよい人間関係づくりを推進する。
- 地域ボランティアへの参加など地域との連携を図った特色ある学校づくりを推進する。
- 小中学校間で課題の共有を図り、学校園全体で課題解決に取り組む小中一貫教育を推進する。
- ・各種たよりの発行やPTA・地域協議会への情報提供などを通して、家庭や地域との連携を一層深める。特に、ホームページや一斉メールなど情報機器を活用した情報提供の充実を図る。
- ・ICTの積極的な活用や部活動の適正な実施など業務の適正化を図るとともに、教職員一人一人のワークライフバランスを実現するため、勤務時間を意識した働き方改革を推進する。

【学習指導】

- ・一人一授業の公開や教科部会の活性化(OJTを含む)を図り、学ぶ意欲の育成や基礎・基本の確実な習得、学習の評価など学習指導上の諸課題について協議・検討し、教師の指導力の向上を図り、「確かな学力」の育成に努める。
- ・全教科、「学び合う活動」を授業に取り入れ、生徒のコミュニケーション能力の向上や基礎・基本の定着、思考力・判断力等の育成に努める。
- 特別の教科「道徳」に対する理解を深め、道徳科の目標を具現化する授業の在り方や評価等について研究を推進するとともに、本校の生徒の実態に応じた年間指導計画を作成する。
- 家庭学習の充実に向けた環境作りや具体策について検討し、生徒一人一人の家庭学習の定着を図る。

【児童生徒指導】

- ・教育相談担当、SCM、SC、MS、家庭、その他関係機関と十分に連携を図った教育相談体制を構築し、不登校生徒の減少に努める。
- ・いじめ防止にむけた効果的な取組を意図的・計画的に実践し、いじめの起こりにくい環境を構築する。また、いじめ調査などの充実を図り、いじめの早期発見・早期対応に取り組むなど指導体制の充実を図る。

- ・問題行動等の発生に対して、学校全体で情報の共有を図り、組織的に対応する体制を一層強化する。(報告・連絡・相談の徹底)
 - スマートフォンなど情報機器の適切な使用について指導の充実を図り、ネットトラブル等の未然防止に努める。
- 【健康(体力・保健・食・安全)】
- 交通ルールやマナーの重要性を理解させる指導に力を入れ、自他の生命の尊重に努める生徒を育成する。
 - ・体力の向上や心身の健康の保持増進に心がけ、自ら安全に活動できる生徒の育成に努める。
 - 食に関する指導の一層の充実を図るとともに、生徒の健康・安全管理の徹底を図る。

6 自己評価(評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。)

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す生徒の姿	A 1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 →生徒の肯定的回答 80%以上	○①全教科で「学び合う活動」を授業に取り入れ、生徒のコミュニケーション能力(発表力・発言力)の向上を図る。 ②生徒のよさや努力したことを認め、励ますことによって、生徒の学習意欲を喚起する。	B	【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は87.9%で、目標を7.9ポイント上回っている。(昨年比較△0.4p) 【次年度の方針】 ・「学びあう活動」(グループ活動や発表など)の目的や方法をより明確にすることで「主体的・対話的で深い学び」を意識した学習活動や言語活動の充実に努める。
	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 →教職員の肯定的回答 80%以上	①学級活動や道徳教育の充実を図り、個人や社会の一員としてのあり方を身につけさせる。 ②各学年行事(冒険活動教室・社会体験学習・修学旅行)において、適切な言動が取れるよう指導するとともに、社会性スキルを身につけさせる。	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は88.7%で、目標を8.7ポイント上回っている。(昨年比較△1.5p) 【次年度の方針】 ・学級活動や道徳教育の充実を図り、学校生活全般を通して、相手の気持ちを考えた言葉遣いや態度を取るよう指導するとともに、良い言動が見られた時には認めたり称賛したりする。
	A 3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 →生徒の肯定的回答 80%以上	①チャイム着席の徹底を図るため、学級委員長や中央委員会が中心になって呼びかけなどの取組を行う。 ②学芸委員会と生活委員会が中心となって生活・学習指標を決めて提示し、生活や学習習慣を改善しようとする意欲を持たせる。	B	【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は85.5%で、目標を5.5ポイント上回っている。(昨年比較△1.5p) 【次年度の方針】 ・生徒の自発的・自治的な活動の充実を図るとともに、学級活動や生徒会活動などの集団活動を通して規範意識の向上に努める。
	A 4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 →生徒の肯定的回答 85%以上	①普段の学校生活や授業で正しいあいさつができるよう、教師が進んで範を示す。 ②生徒会のあいさつ運動を推進させる。	B	【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は94.7%で、目標を9.7ポイント上回っている。(昨年比較△0.1p) 【次年度の方針】 ・生徒会活動の継続的な取組を充実させるとともに、実践的な態度の育成に努める。

<p>A 5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 →生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①よりよい学校生活にするため、学校行事等の後に教職員及び生徒のアンケートを実施し、改善を図る。 ②毎学期末に生徒に諸活動への取組や内容の振り返り（評価）をさせる。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は81.2%で、目標を1.2ポイント上回っている。（昨年比較△3.9p）</p> <p>【次年度の方針】 ・自己評価のための振り返りシート等を活用し、目標の見直しや改善・向上につなげさせる。 ・キャリア教育との関連を図り、将来を見据えた取組になるように意識付けを図る。</p>
<p>A 6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 →生徒の肯定的回答 80%以上 →教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①「交通安全教室」「薬物乱用防止教室」を実施するとともに、他の教育活動との関連を明確にして指導する。 ②地域学校園児童・生徒指導部会で、交通ルール指導に関する共通理解を深め、小学校と連携しながら指導に当たる。 ③登下校指導を実施し、交通ルールの順守を繰り返し指導する。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は91.8%で、目標を11.8ポイント上回っている。（昨年比較△0.9p） ・教職員の肯定的回答は79.2%で、目標を0.8ポイント下回っている。（昨年比較1.2p）</p> <p>【次年度の方針】 ・登下校指導や安全教育の充実を図り、生徒の規範意識の向上に努める。また、保健講座等の実施により、生徒の健康への意識向上を図る。 ・外部講師による自転車安全運転講習会を実施する。</p>
<p>A 7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 →生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①生徒に自分の生活目標を明確にもたせ、その実現に向けて助言・指導を行い、充実した生活を送らせる。 ②生徒会活動を充実させ、集団の向上や社会貢献に向けた活動の充実を図る。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は81.2%で、目標を1.2ポイント上回っている。（昨年比較△3.9p）</p> <p>【次年度の方針】 ・「働く人に学ぶ」（1年）、社会体験学習（2年）、「修学旅行」（3年）を通して、社会との関わりの大切さを学ぶとともに、進んで社会貢献しようとする生徒を育てる。</p>
<p>A 8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 →生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①英語科の授業やALTとのコミュニケーションを通して、豊かな表現力の育成を図る。 ②修学旅行等を通して、外国人との交流の機会を積極的に利用し、積極的にコミュニケーションを図る生徒を育成する。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は80.9%で、目標を0.9ポイント上回っている。（昨年比較△1.7p）</p> <p>【次年度の方針】 ・国際社会で活躍できる生徒の育成を目指し、英語によるコミュニケーションの大切さを伝えるとともに、豊かな表現力の育成に努める。</p>
<p>A 9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 →生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①「魅力ある学校づくり地域協議会」や陽南中学校サポート団体との連携を図り、陽南地区の歴史やよさについて学ぶ機会を設ける。 ②活動内容や体験について、全校に周知を図り、認め合う機運を高める。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は77.6%で、目標を2.4ポイント下回っている。（昨年比較△0.1p）</p> <p>【次年度の方針】 ・総合的な学習の時間の「宇都宮学」の中で、生徒に宇都宮の良さを実感できる活動を、企画・実践する。また、各種協力団体と連携を図りながら、生徒に地域のよさを実感できる取組の充実を図る。</p>

	<p>A10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 →生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①ICT機器の活用を推進し、効果的な学習効果や習熟を図れるよう工夫する。 ②学校図書館の授業での活用を推進し、よりよい言語活動や豊かな心の育成に努める。</p>	A	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は53.9%で、目標を26.1ポイント下回っている。 (昨年比較△2.3p)</p> <p>【次年度の方針】 ・タブレットPCの導入を受け、授業での効果的な利用の充実を図るとともに、思考力を高め、表現力の育成を目指した指導法の研究に努める。 ・学校図書館の授業での活用を推進する。 ・古い図書の廃棄を進め、蔵書の入れ替えを積極的に行う。</p>
	<p>A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわり心をもっている。</p> <p>【数値指標】 →生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①地域行事への積極的な参加を促し、高齢者との交流を深めさせる。 ②学校行事(体育祭や文化祭)への高齢者招待を実施し、感謝を表す機会を作る。</p>	B	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は88.6%で、目標を8.6ポイント上回っている。(昨年比較1.4p)</p> <p>【次年度の方針】 ・地域行事等へのボランティア活動の充実を図るとともに、高齢者との継続的な交流機会の創出を検討する。</p>
	<p>A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 →生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①環境委員会の活動を通して、リサイクル活動の充実を図るとともに、環境問題への関心を高める。 ②総合的な学習の時間や行事を通して、ごみ問題や資源について学ぶ機会を作る。</p>	A	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は61.7%で、目標を18.3ポイント下回っている。 (昨年比較△2.9p)</p> <p>【次年度の方針】 ・環境委員会の活動の充実を図るとともに、新学習指導要領完全実施の点から[SDGs]についての周知を図り、取組可能な活動への関心を高める。</p>
	<p>B1 生徒は、礼儀正しく、適切な言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 →生徒の肯定的回答 80%以上 →教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①授業や部活動などの機会をとらえて、時と場に応じた正しい言葉づかいや礼儀について指導する。 ②生徒、教職員ともに、人権に配慮した言葉のやり取りができるよう心掛ける。</p>	B	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は79.5%で、目標を0.5ポイント下回っている。(昨年比較△2.0p) ・教職員の肯定的回答は74.5%で、目標を5.5ポイント下回っている。 (昨年比較△3.5p)</p> <p>【次年度の方針】 ・授業や各教育活動を通して、適切な言葉遣い等を指導する。また、人権感覚を磨くとともにTPOに応じた適切な言動ができる生徒の育成に努める。</p>
目指す学	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 →教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①生徒指導係会や教育相談係会で、生徒の実態や状況について情報の共有化を図る。 ②不登校対策やQ-U検査などについて、教育相談の研修を通して相談技術の習得に努める。</p>	B	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は90.6%で、目標を10.6ポイント上回っている。 (昨年比較2.8p)</p> <p>【次年度の方針】 ・集団不適用や不登校生徒の適切な対応に努めるとともに、適切な指導法について研修を深める。</p>

校 の 姿	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 →生徒の肯定的回答 80%以上 →保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①学校生活の中で、相手の気持ちを考えた言葉遣いや態度を取るよう指導することを通して、人権感覚を高める。</p> <p>②いじめのアンケート（年間6回）や教育相談の結果を踏まえ、早期発見と再発防止への取組を全職員に徹底するとともに、「生徒指導だより」で保護者に周知する。</p> <p>③本校の「いじめ防止対策基本方針」や具体的な取組の様子をホームページや、保護者会などを利用して、保護者に周知し、家庭と連携して対策に取り組む。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は94.8%で、目標を14.8ポイント上回っている。（昨年比較△0.3p） ・保護者の肯定的回答は72.9%で、目標を7.1ポイント下回っている。（昨年比較2.9p） <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケート実施を継続するとともに、早期発見・早期解決に努める。また、生徒や保護者との信頼関係を深めながら未然防止や支援の充実を図る。
	<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 →教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①スタンダードダイアリーの確認を通して、生徒の思いや訴えを受け止め、適切な指導や相談を行う。</p> <p>②常に生徒の声に耳を傾け、適切に学習相談や教育相談を実施し、悩みの早期解決に努める。</p> <p>③SC、MS、かがやきルーム指導員等と連携を密にし、生徒の状況把握に努めるとともに、要支援生徒について、多様な観点からの理解を深め、指導の充実を図る。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答は96.2%で、目標を16.2ポイント上回っている。（昨年比較1.1p） <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談（年2回（今年度は1回実施））やチャンス相談を通して、生徒理解に努める。また、生徒の情報を多くの教職員で共有しながら、適切な支援の充実を図る。
	<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 →教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①生徒の状況を把握するとともに、保護者からの要望等にもきちんと配慮するなどきめ細やかな支援に努める。</p> <p>②日本語指導の先生と連携しながら、本人の悩みの解消や支援の充実について複数の教職員で検討する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答は90.6%で、目標を10.6ポイント上回っている。（昨年比較2.8p） <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国籍または帰国生徒等の情報を的確に把握・共有し、適切な支援の充実を図る。
	<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 →生徒の肯定的回答 85%以上 →地域の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①メリハリのある学校行事の位置付けを行い、生徒の自発的・自治的な活動ができるように指導の工夫を図る。</p> <p>②生徒の実態に即した年間指導計画を作成し、学習や行事に取り組む意欲を高める。</p>	A	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は84.4%で、目標を0.6ポイント下回っている。（昨年比較△5.1p） ・地域の肯定的回答は100.0%で、目標を15.0ポイント上回っている。（昨年比較0p） <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、学校行事や生徒会活動の充実を努めるとともに、主体的・対話的で深い学びを意識した場面を意識的に設定することを通して、取組への意欲向上を図る。
	<p>A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 →生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①「分かる授業」展開のための「見せ合い授業」を行い、参観レポートを作成するなど、相互研修を充実させ、個々の授業力を向上させる。</p> <p>③「特別の教科道徳」の指導資料等を充実させる。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は90.4%で、目標を10.4ポイント上回っている。（昨年比較1.0p） <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習の手引き」や「家庭学習確認票」の利用を通して、生徒の学習への意識向上を図るとともに、保護者への啓発に努める。 ・授業実践資料を共有・活用し、道徳の授業の充実を図る。

<p>A 19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 →教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①S C, M S, かがやきルーム指導員等と連携を密にし、生徒の状況把握に努めるとともに、要支援生徒について、多様な観点からの理解を深め、指導の充実を図る。</p> <p>②事務職員との連絡を密にし、事務処理の迅速・効率化に努める。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答は84.9%で、目標を4.9ポイント上回っている。(昨年比較6.9p) <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各主任や主事がリーダーシップを図るとともに、各学年や分掌間の連携を充実させる。 ・専門的な知識を持つ教職員との連携を深め、生徒支援の充実を図る。
<p>A 20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 →教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①部活動指導のガイドラインに則った適正な実施や指導に取り組む。</p> <p>②風通しの良い職場環境を維持するとともに、業務への連携協力や分散等を意識した改善を図る。</p>	<p>A</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答は71.7%で、目標を8.3ポイント下回っている。(昨年比較10.2p) <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好な職場環境の維持に努める。 ・データの整理・整備を行う等、職場環境の整備を行う。 ・業務内容の削減や効率化を図る。 ・部活動指導の適正化に努める。
<p>A 21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 →教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>○①共同事務を推進し、業務のスリム化を図る。</p> <p>○②小・中間で図書館、給食、保健室の情報を交流し、指導の充実を図る。</p> <p>○③教科部会や研究授業の参観を各機関で積極的に行う。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答は84.9%で、目標を0.1ポイント下回っている。(昨年比較△7.8p) <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の効果を共有し、取組の充実を図る。特に、学習指導部会の活性化を図り、児童生徒の学力向上に努める。 ・組織と活動のスリム化を進める。
<p>A 22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 →保護者の肯定的回答 85%以上 →地域の肯定的回答 85%以上</p>	<p>○①「魅力ある学校づくり地域協議会」を有効活用して、学校運営の充実を図る。</p> <p>○②地域指導者と連携した授業や活動を計画的に実施する。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の肯定的回答は84.9%で、目標を0.1ポイント下回っている。(昨年比較△1.7p) ・地域の肯定的回答は100.0%で、目標を15.0ポイント上回っている。(昨年比較0p) <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域協議会」との連携を充実させるとともに、「働く人に学ぶ」(1年)や「社会体験学習」(2年)における地域指導者と連携して教育活動の充実を図る。

<p>A 23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 →保護者の肯定的回答 85%以上 →地域の肯定的回答 85%以上</p>	<p>○①学校や生徒会、PTA、地域が連携して地域行事や環境美化活動への参加を積極的に推進する。 ○②ボランティア活動の様子や、生徒の振り返りを、掲示物等で生徒に周知し、意識の共有化と高揚を図る。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は84.9%で、目標を0.1ポイント下回っている。 (昨年比較△1.7p) ・地域の肯定的回答は100.0%で、目標を15.0ポイント上回っている。(昨年比較0p)</p> <p>【次年度の方針】 ・新型コロナウイルスを考慮し、地域行事でのボランティア活動以外にも、ボランティアの在り方を認識できるような啓発を行う。 ・PTAの関わる行事について、新型コロナウイルス感染症の対策を協力して取り入れながら進める。</p>
<p>A 24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 →教職員の肯定的回答 80%以上 →保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①安全点検を実施し、危険個所の把握や適切で迅速な対応を検討し、安全な教育環境の維持に努める。 ②教育活動全般について、安全で適正な活動への見直しを行う。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は94.3%で、目標を14.3ポイント上回っている。 (昨年比較8.9p) ・保護者の肯定的回答は91.7%で、目標を11.7ポイント上回っている。 (昨年比較3.2p)</p> <p>【次年度の方針】 ・学校環境の安心・安全確保に努める。また、PTA等と連携しながら、環境整備を図る。</p>
<p>A 25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 →教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①教育活動に必要な物品の充足度を定期的に確認するなどの活動を通して、生徒の学習に必要な設備や教材の充実を図る。 ②生徒の「確かな学力」の育成のために、効果的な機器等の利用法や指導法についての研修を深める。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は60.8%で、目標を19.2ポイント下回っている。 (昨年比較△1.7p)</p> <p>【次年度の方針】 ・授業における生徒の学力向上に向けた効果的な教材・教具の充実を図る。また、効果的に活用するため、その利用法や指導法の研修を深める。</p>
<p>B 2 学校は、生徒の「家庭学習」の充実・支援に努めている。</p> <p>【数値指標】 →教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>○①「家庭学習の手引き」や、「家庭学習の記録」を活用し、家庭学習の充実を図る。 ②生徒の「主体的に」「学びに向かう力」の育成に向けた指導法を工夫する。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は73.2%で、目標を18.3ポイント下回っている。 (昨年比較△11.5p)</p> <p>【次年度の方針】 ・家庭学習の大切さを継続して周知するとともに、効果的な学習教材(宿題)を準備し、保護者との連携を図りながら支援の充実に努める。</p>

本校の特色・課題等	<p>B3 生徒は、学校行事や部活動に意欲的に参加し活動している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>→生徒の肯定的回答 90%以上</p> <p>→教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①学校行事や部活動において、生徒が自主的・自治的に参加できるよう企画・運営を工夫する。</p> <p>②各委員会や行事の実行委員会、部活動におけるリーダーの育成に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>・生徒の肯定的回答は95.0%で、目標を5.0ポイント上回っている。(昨年比較△2.0p)</p> <p>・教職員の肯定的回答は97.9%で、目標を17.9ポイント上回っている。(昨年比較△2.1p)</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・本校の特色を継続・維持できるように、生徒の主体的な活動を支援する。また、リーダー育成に努め、伝統を守ろうとする生徒の育成を図る。</p>
	<p>B4 生徒は、必ずマスクを着用し、まめに石けんで手洗いをしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>→生徒の肯定的回答 90%以上</p> <p>→教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①登校時・朝の会時に、マスクを着用しているかチェックする。</p> <p>②業間や昼休み時の保健委員の放送で、換気とマスクの着用、石けんの手洗いを呼びかける。</p> <p>③給食委員が、給食の配膳や片付けで、マスク着用や石けんでの手洗いを呼びかける。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>・生徒の肯定的回答は92.5%で、目標を2.5ポイント上回っている。(昨年比較なし)</p> <p>・教職員の肯定的回答は95.7%で、目標を5.7ポイント上回っている。(昨年比較なし)</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・それぞれの委員会の活動を継続し、他の委員会とも連携しながら、感染症予防の徹底を図る。</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

全評価項目の中で、肯定的評価が「数値指標」を上回っているものは、38の対象中24であった。(63.2%)生徒の肯定的評価は、23項目中15項目において80%を超えている。このことから、本校生徒は学校生活におおむね満足の状態であると考えている。

保護者の肯定的評価が80%を下回っているものは23項目中9項目で、その中には60%を下回るものが3項目ある。学校の取組についての説明や周知を図るとともに、指導の充実に努めていきたい。

学校関係者(地域)の評価では、13項目すべてにおいて90%を超える評価であった。今後も連携を図るとともに情報の提供等に努めていきたい。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月まで臨時休業となった。その後も、感染症拡大防止の視点から、多くの学校行事において、中止・変更となった。来年度は、中学校新学習指導要領完全実施も踏まえ、これまで以上に、地域・家庭に学校の情報を発信していかねばと考える。

【項目別について】

①「目指す生徒の姿」

・項目(A9・A10・A12)は、「宇都宮の良さ」「ICTや図書の学習活用」「持続可能な社会」という内容で、生徒や保護者への周知が不十分であることが考えられる。次年度も引き続き啓発に努めるとともに、実施可能な取組の充実に努めていきたい。

②「目指す学校の姿」

・いじめ対策への取組(A14)については、昨年より上回った評価をいただいた。今後もきめ細かい対応に心がけ生徒支援に努めたい。

・学習指導(学力向上)について(A25・B2)は、「パソコンや図書等の活用」「家庭学習の充実」の評価が昨年より低い。来年度は生徒一人にタブレット型パソコンを渡すので、さらに、学校・家庭での学習において、ICT機器や図書の利用を有効活用しながら学習効果を上げるとともに、家庭学習の重要さの啓発や具体的な取組を継続できるよう努めていきたい。

③「本校の特色・課題等」

・生徒たちの「学校行事や部活動に意欲的に参加している」様子が、自由記述のアンケート結果からも評価され、良好な学校生活を送っている生徒が多いと考えている。さらに主体的な生徒の育成を図るとともに、保護者や地域の信頼を得られるよう取り組んでいきたい。

7 学校関係者評価

(1) 自己評価【達成状況】について

- ・おおむね良好である。
- ・全体的に取組が生かされている。
- ・学校の取組が生徒の回答に反映されており、指導や姿勢が生徒にしっかり受け止められ肯定的回答になっている。
- ・生徒、教職員、保護者等の評価に差異が大きいものがある。
- ・「宇都宮の良さを知っている(A9)」は抽象的で答え方が難しい項目である。
- ・「持続可能な社会(A12)」では、幅が広く評価できない。範囲を限定したほうがよい。

(2) 自己評価【次年度の方針】について

- ・「いじめの指導(A14)」では、実態が表に出ていないこともあるので、さらに具体的な対策が必要である。
- ・「業務の効率化(A20)」は、熱心に取り組む教員ほど調整が難しいと感じる。効率化を図る中でも質の低下や教職員のやりがい失われぬように良好な職場環境の維持に努めていただきたい。また、部活動指導との関係を見直す必要がある。
- ・現状を分析し、特に目標と大きさ差がある項目については、具体的な取組を行う必要がある。
- ・回答に差がある項目について、どのように見方が異なるのか意見交換が必要である。

(3) 学校教育活動全般について

- ・良好である。次年度も地域学校園のリーダーとして努力してほしい。
- ・教育目標、学校経営理念と方針及び重点目標を踏まえ自己評価がなされている。
- ・本校の特色、課題等での達成状況が素晴らしい。今後も継続・維持できるよう期待している。
- ・「いじめ(A14)」では、SNS上でのからかいや暴言等幅が広い。警察との連携も必要である。学校の状況について報告の機会があるとよい。
- ・先生の元気や人間力が生徒の育成に大きく影響する。業務の見直し・考え直しを図り、大胆な取組により働き方改革の推進を図ってほしい。
- ・「学校と地域との関わり」や「生徒が地域に出て学ぶ」点は大変良いと思う。
- ・今後も地域との連携を深め、地域に開かれた学校づくりをお願いしたい。
- ・地域と学校が一体となって取り組む形ができています。今後も強化する方向でお願いしたい。
- ・コロナ禍の中、新しい生活様式、新しい働き方スタイルによる生徒指導に大変ご苦勞も多いと思うが、自らの健康に留意し頑張してほしい。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・学校関係者評価では、今年度も貴重なご意見をいただいた。自己評価の【達成状況】及び【次年度の方針】について、肯定的な評価（「適切」「おおむね適切」）をいただいた。ただし、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校公開がままならず評価できないというものもあった。今後も地域と協力しながら学校教育目標の実現に向けて取り組んでいくとともに、総合的な評価で記述した項目に重点を置きながら、次年度の方針を具体化する教育活動の充実につなげていきたい。
- ・いじめ防止対策、不登校生徒への支援等、全教職員の共通理解や組織としての取組による早期発見や早期解決が期待されている。いじめの実態把握を確実にできるよう、相談体制の確立や支援方法の多様化などを充実させていきたい。また、必要に応じて地域や警察等の関係機関と連携を図り、情報を共有できる体制づくりに努めたい。
- ・教職員の働き方改革については、「業務の見直し」や「意識改革」を進めているところではあるが、教員以外の専門スタッフとの連携を充実させることで、よりよい教育効果が得られるよう取り組んでいきたい。また、地域や学校の両方向からの情報発信・共有を心がけ、開かれた学校の中で生徒が生き生きと学習や生活に取り組めるよう、保護者や地域との協働を推進していきたい。